

ひろい心 通信

学校教育目標 主体 協働 追究

～小野江の「つよく やさしく ひろい心」が育ち合う～

5月30日に、令和5年度の第1回小野江小学校学校運営協議会が開催され、学校経営方針等についてご協議いただきました。本年度の方針にある「めざす子ども像」（自分から行動できる子ども・仲間を思いやり、ともに取り組む子ども・自信をもって、挑戦し続ける子ども）は、昨年度開催された「熟議を活用した意見交換会」でのご意見を参考にさせていただきました。重点目標としては、コミュニティ・スクールの取り組みや武四郎学習・防災教育を中心とした地域と取り組む学習活動の充実、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりの研修の推進、教職員の勤務時間の削減をあげました。協議事項は全会一致で承認されました。本年度の「学校教育の方針」は裏面に記載しておりますので、ご確認ください。

来年度から使用する小学校の教科書見本を展示します！

教科書は、教科により2種類から7種類発行され、その中から私たちの地域の子どもたちに適する教科書が選ばれています。これらの教科書見本を、6月14日（水）15日（木）9～16時、小野江小学校家庭科室（体育館渡り廊下からお入りください）にて展示します。

来年度、子どもたちが手にする新しくなった教科書見本をぜひご覧いただき、ご意見をお聞かせください。

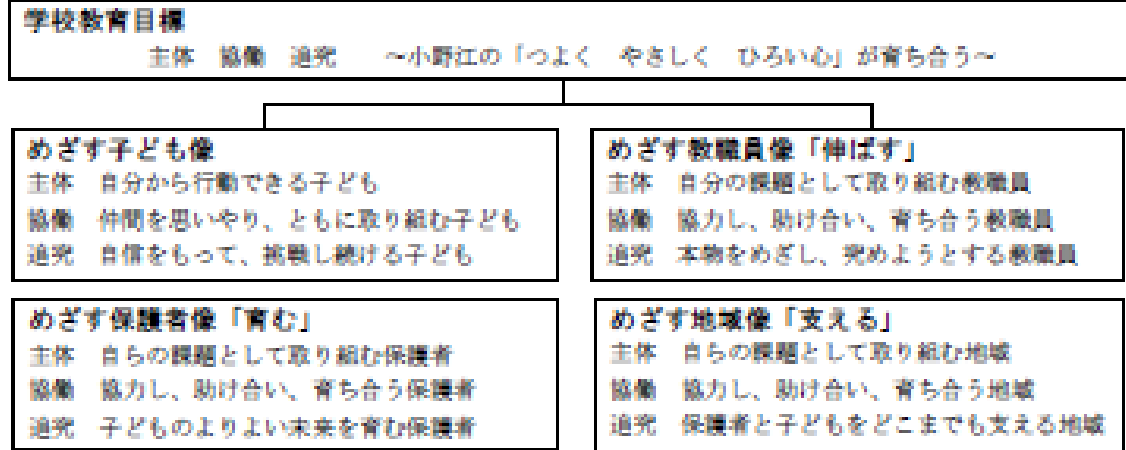
小野江小学校の子どもたちの様子は下記のホームページで紹介しています。
<https://www12.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200063>
「小野江小」を検索！スマホなら右のQRコードを読み取ってアクセス！



令和5年度 学校経営の方針

松阪市立小野江小学校

I 学校教育目標



II 重点目標

- (1) コミュニティ・スクールの取り組みを充実し、保護者・地域との連携を強化する。
- (2) 「小野江小学校創立150年記念行事」や「武四郎学習」など、地域とともに取り組む活動を充実する。
- (3) ICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりの研修を進める。
- (4) 子どもたちの笑顔、教職員の笑顔のために、教職員の勤務時間削減を図る。

III 具体的な取組と目標

- (1) コミュニティ・スクールの推進
 - ① 学校・家庭・地域がともに「創立150年記念行事」に取り組むことにより、学校や地域を愛する心を育む。
 - ② 「熟議」を実施し、学校・保護者・地域が「めざす子ども像」を共有する。
 - ③ ボランティアとともに、図書室活用や学校環境整備など、教育環境の充実を図る。
- (2) 地域とともに取り組む学習活動
 - ① 「創立150年記念行事」に取り組むことにより、地域の一員として自分にできることを考える。
 - ② 「武四郎学習」をカリキュラムに位置づけ、地域人材を活用して充実を図る。
 - ③ 地域人材を活用した授業や学習活動に取り組み、「めざす子ども像」の実現をともにめざす。
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ① めざす子ども像を具現化するための授業づくりについて、実践を通して学び合う。
 - ② ICTの活用について、全教員で子どもとともに学びを進めていく。
 - ・タブレットを活用した授業づくり
 - ・プログラミング教育
 - ・オンライン英会話
 - ③ 家庭と連携して、家庭学習の習慣化を図り、学力の定着とやる気の向上をめざす。
- (4) 教職員の勤務時間削減及びコンプライアンス遵守に向けた取組の推進
 - ① 「かえるボード」を活用し、勤務時間のマネジメントを図る。
 - ② 学校のビジョンを明確にし、業務内容をビジョンに沿って考えていくことで、職場の支え合える環境づくり、業務内容の精選を図る。
 - 1人当たりの月平均時間外労働19時間
 - 年360時間を超える時間外労働者数0人
 - 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人
 - 1人当たりの年間休暇取得日数22日
 - 設定日の定時退校職員の割合80%
 - 60分以内に終了した放課後開催の会議の割合70%
 - ③ 服務規律等に関する発信を定期的に行うとともに、コンプライアンスミーティングを実施する。